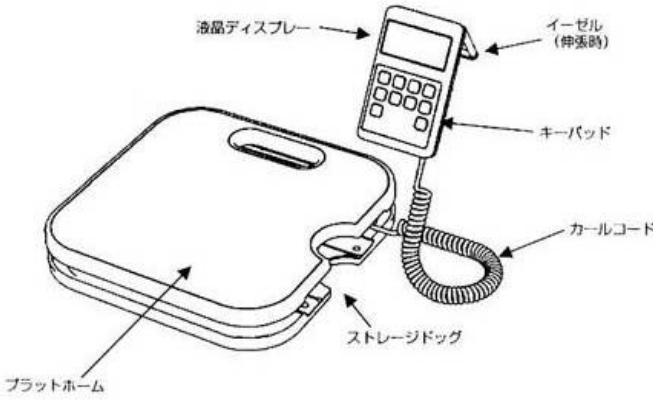
EA113XG-1（冷媒充填はかり）取扱説明書

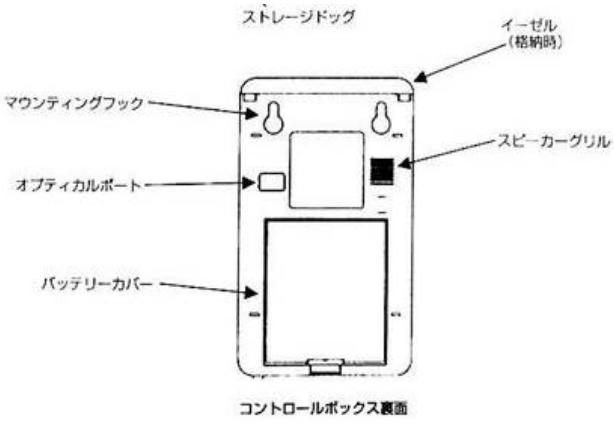
このたびは当商品をお買上げ頂き誠にありがとうございます。
ご使用に際しましては取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い申し上げます。

■特　長

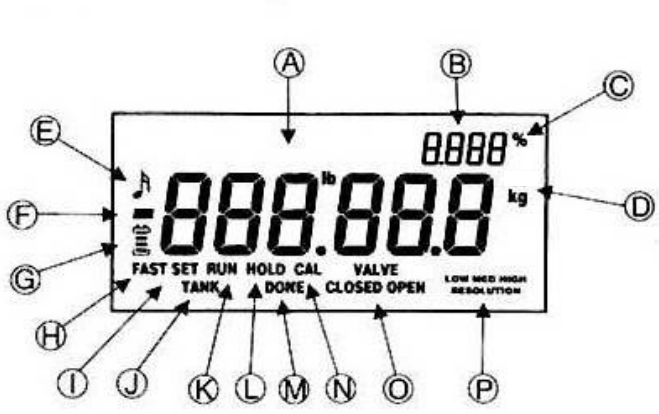
- 大型で見やすい液晶ディスプレーです。
- 内蔵メモリーに過去のセット内容が残ります。
- 丈夫でコンパクトなデザインです。
- 少ない消費電力（30分間重量変化がないと自動的に電源がOFFになります。）
- 正確で高い分解能です。
- 設定重量になると、アラームを鳴らすようにセットできます。
- 安価なおもりを使用して、校正ができます。
- EA113XG-2と併用すれば、自動充填が可能になります。

■各部の名称

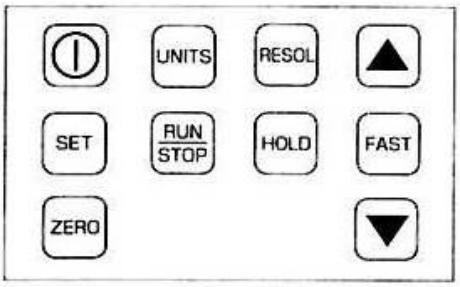




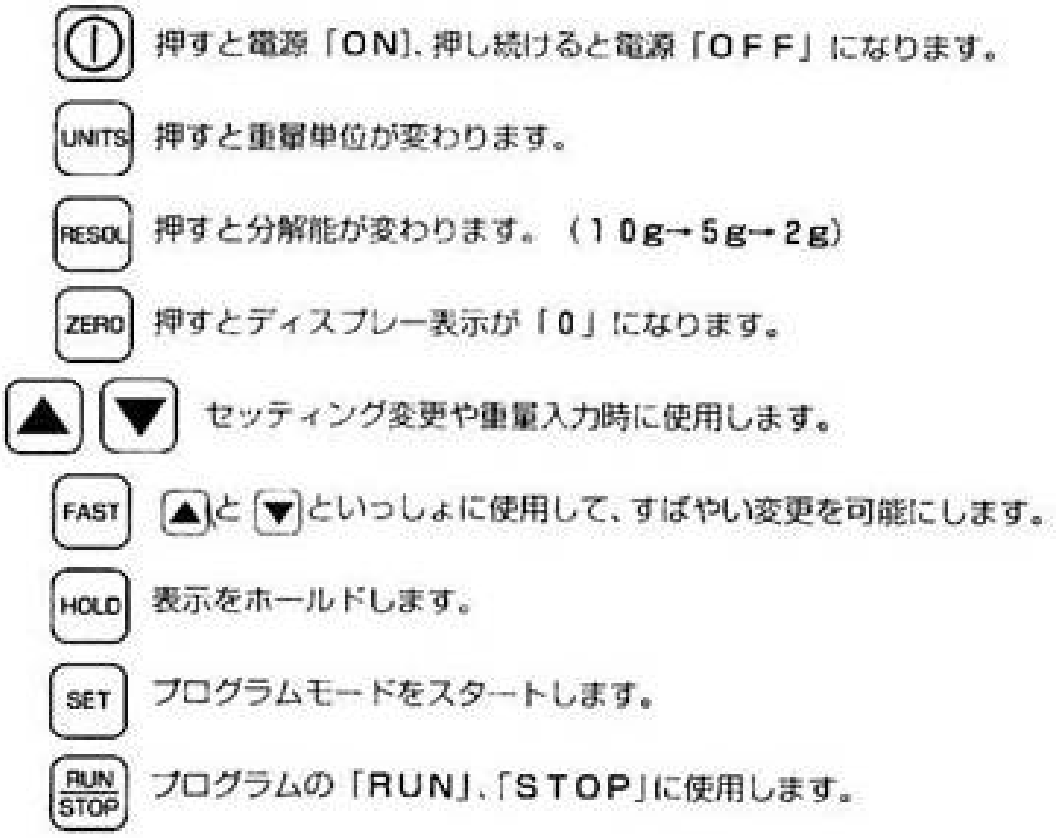
■液晶ディスプレー



記号	機能
A	数値表示部（メイン）
B	数値表示部（サブ）
C	ボンベ内容量（%）
D	重量単位
E	アラーム
F	マイナス表示
G	バッテリーレベル
H	Ｆａｓｔ調整モード
I	Ｓｅｔモード
J	ボンベ内容量モード
K	Ｒｕｎモード
L	Ｈｏｌｄモード
M	プログラム完了
N	校正モード
O	電磁弁の開・閉（CM-５００併用時）
P	分解能のレベル



■キーパッド



■バッテリーの収納と交換

1: コントロールボックス裏側にあるバッテリーカバーを外してください。
2: 古いバッテリーが入っていれば、取り外してください。
3: 単4アルカリ乾電池の向きを間違えずに収納し、バッテリーカバーを取り付けてください。

重要: バッテリーの向きを間違えて取り付けると、本体を壊す可能性があります。
本体を長期間使用しない時はバッテリーを取り外してください。

■分解能

分解能は簡単に変えることができます。
落ち着きが悪い物や風が強い日はディスプレーの表示値が一定しません。
分解能を変更して、影響を最小限に抑えましょう。
出荷時の当商品の分解能はMEDIUMに設定されています。
キーパッドにあるRESOLボタンを押すと、連続的に変更することができます。
表1は重量単位と分解能の関係を示したものです。
スケールは分解能が高いほど、外部の影響は受けやすくなります。

表1

分解能	kg
HIGH	2g
MEDIUM	5g
LOW	10g

■重量オーバー表示

最大計測重量（100kg）を越えた物をプラットフォームに載せるとディスプレーの
右端に「1」が表示されます。
ダメージを避けるために、この表示が出たらすぐに下ろしてください。

■ホールドモードの設定

ディスプレーの重量に影響を与えずに空になった容器を交換する機能が
備わっています。ホールドモードの使い方は下記に従ってください。

1. ディスプレーの数値が安定するまで待ってください。
2. HOLDボタンを押してください。
   ディスプレーにはHOLDの文字が表示されます。これで重量はロックされました。
3. 空になった容器を取り除いてください。
4. 新しい容器が安定するまで5秒ほど待ってください。
5. HOLDボタンを押してください。
   ディスプレーからHOLDの文字が消えます。
   計量が始まります。

■プログラミングについて

当商品はプログラムされた重量になるとアラームを鳴らすことができます。
アラームはプログラムされた重量（増加した重量でも、減少した重量でも）と等しくなると鳴ります。

■使用手順

1. 当商品の重量単位と分解能をセットしてください。
2. 減少した（充填した）重量でアラームを鳴らすには、プラットフォームの上に冷媒が入った
   容器を置いてください。
3. SETボタンを押して、セットモードをスタートさせてください。
   ディスプレーに**SET**の文字が表示されます。
4. ▲・▼ボタンを押して希望する重量をセットしてください。
   数字を早く変えるにはFASTボタンを押して、ファーストセットモードに移ってください。
   通常の10倍の早さで数字が動きます。
   もう1度、FASTボタンを押すと通常のセットモードに戻ります。
5. RUN/STOPボタンを押してください。
   ディスプレーの重量が自動的に「**0**」になり、**RUN**の文字が表示されます。
   プログラムが始まります。
6. プログラムされた重量が減る（充填される）とアラームが鳴り、**DONE**の文字がディスプレーで
   点滅します。
7. アラームを止めるには適当なキーを押してください。
8. このRUNモードをキャンセルするにはRUN/STOPボタンを押してください。

記： RUNモードはセットモードから始めます。
RUNモードをキャンセルするにはRUN/STOPボタンを押してください。
再度RUNモードにするにはSETボタンを押してください。
（前回にセットされた重量でよければ）RUN/STOPボタンを押してください。
ディスプレーが「**0**」に変わり、プログラムが始まります。
RUNモードを始める前にセットモードでプログラムするにはSETボタンを押して、希望する重量
をセットしてください。
次にセットモードで新しい重量を入力するまで、前回のデータは保持されます。

■ボンベキャパシティモード

ボンベ内に残っている冷媒量がわかると大変便利です。
当商品のボンベキャパシティモードはボンベ内の残量をパーセントで連続的に表示します。
このモードを使用するには空の重量と満タンの重量を記憶させる必要があります。

■ボンベキャパシティモードの設定手順

1. ZEROボタンを押したままSETボタンを押してください。
   ディスプレーにSET TANKが点灯し、OFFの文字が表示されます。
   この表示は現在ボンベキャパシティモードがオフであることを示します。
2. ▲ボタンを押すと、ボンベキャパシティモードになり、ディスプレーにはONが表示され
   数値表示部（サブ）と%が点灯します。
3. まず、SETボタンを押してください。
   0%が点灯し、空容器の重量を登録します。
4. プラットフォームの上に満タン容器（同じ大きさの重り）を載せ、安定するまで5秒ほど待ってから
   SETボタンを押してください。
   次に100%が点滅します。
   満タンの容器重量を登録します。
5. プラットフォームの上に満タン容器（同じ大きさの重し）を載せ、安定するまで5秒ほど待ってから、
   SETボタンを押してください。
   これでトレーニングは完了です。
   SETTANKの文字が消えます。
6. この時点から、数値表示部（サブ）には、ボンベ内残量が0～100%で表示されます。

記： 満タン重量と空重量の差が少なくとも200gないと、Errが表示されます。再度、
上記の操作を行ってください。

■ボンベキャパシティモードをOFFにするには

1. ZEROボタンを押しながらSETボタンを押してください。
   ディスプレーにSETTANKが点灯し、ONの文字が表示されます。
   この表示は現在ボンベキャパシティモードがオンであることを示します。
2. ▼ボタンを押すと、ボンベキャパシティモードがオフになります。
   ディスプレーにはOFFが表示され、数値表示部（サブ）が消えます。
3. RUN/STOPボタンを押すと、ノーマルモードに戻ります。

■ボンベキャパシティモードに戻るには

前回の設定を保持しているので、再トレーニングなしにボンベキャパシティモードに
戻ることができます。（設定時と同じボンベを使用する限り）

1. ZEROボタンを押したままSETボタンを押してください。
   ディスプレーにSETTANKが点灯し、OFFの文字が表示されます。
   この表示は現在ボンベキャパシティモードがオフであることを示します。
2. ▲ボタンを押すと、ボンベキャパシティモードになり、ディスプレーにはONが表示され、
   数値表示部（サブ）と%が点灯します。
3. RUN/STOPボタンを押すと、ノーマルモードに戻ります。

■バッテリーレベルインジケーターについて

ディスプレー左側にバッテリーの形で表示されています。
フルパワーで4本バーで表示され、消耗するとバーの数が減少し、最後は少なくなります。
この時点でバッテリーを交換してください。
機能が正常に作動しなくなるほどバッテリーがダウンすると、アラームが20回鳴り、自動的に
電源が落ちます。
直ぐにバッテリーを交換して電源を入れれば、以前のセット状態から使用することができます。

■校正手順

製造工程で校正された当商品は高い精度を保障します。
しかし、精度の確認は定期的に行ってください。簡単に再校正することができます。
スケールを校正するには重量が明確な物(5～100kg)が必要です。
25kgの物を推奨します。
より良い精度にするにはなるべく重い物で校正を行ってください。
(たとえば、5kgの重りより50kgの重りの方が精度の高い校正ができます。)
その重りの精度も±2gを必要とします。

1. 本体を固くて平らな場所に置いてください。
2. 電源を切り、プラットフォーム上に何もないことを確認してください。
3. SETボタンを押しながら、⏻ ボタンを押して放してください。
   本体の電源が入り、数秒後ディスプレーに**SET CAL**と**25.000kg**が表示されます。
4. ▲と▼ボタンを使って、校正に使用する重りの重量を表示させてください。
5. SETボタンを押してください。
   ディスプレーには先ほど入力した重量が表示されます。
   この数字をロックするためZEROボタンを押してください。
   ディスプレーは0を表示します。
6. プラットフォームに校正用の重りを載せてください。
   ディスプレーには重りの重量が表示され、10秒ほどで安定します。
7. SETボタンを押せば、校正は完了です。

■初期設定のリセット手順

校正に失敗したときに、出荷時の状態に戻すことができます。

1. 電源を落としてください。
2. プラットフォームの上に何もないことを確認してください。
3. RUN/STOPボタンを押しながら ⏻ ボタンを押して放してください。
   電源が入り、ビープ音が10回鳴ります。
   これで出荷時の状態に戻ります。

■音量の設定

出荷時、電源を入れた時とキーを押した時に音が鳴るように設定されています。
音が鳴らないようにするには

1. 電源が入っていることを確認してください。
2. ZEROボタンを押しながら、⏻ ボタンを押してください。
   ディスプレーの左側にある音符のマークが消えて、ミュートになります。
   元に戻すには1，2の操作をもう1度行ってください。

記：ミュート機能はアラームには影響しません。